平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場会社名　エスケー化研株式会社　　上場取引所　大
コード番号　4628　URL　http://www.sk-kaken.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 藤井　實
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長　(氏名) 廣瀬　勝義　TEL 072-621-7720

四半期報告書提出予定日　平成23年11月11日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	37,039	12.7	4,727	14.5	4,195	8.3	2,460	2.4
23年3月期第2四半期	32,872	8.7	4,128	24.5	3,873	20.6	2,402	26.5

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　2,505百万円　(15.2%)　23年3月期第2四半期　2,174百万円　(△1.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	173.57	―
23年3月期第2四半期	168.57	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	75,919	57,582	75.8	4,078.63
23年3月期	74,294	56,021	75.4	3,946.20

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　57,582百万円　23年3月期　56,021百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	50.00	50.00
24年3月期	―	0.00			
24年3月期(予想)			―	50.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	77,000	8.4	9,300	1.8	9,500	6.6	5,850	7.6	412.73

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	15,673,885 株	23年3月期	15,673,885 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1,555,697 株	23年3月期	1,477,697 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	14,173,902 株	23年3月期2Q	14,253,283 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）セグメント情報等 …… 9
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年３月11日に発生した東日本大災害を受けて急速に落ち込んだ後、サプライチェーンの復旧に伴い持ち直しの動きとなっておりますが、欧米の景気失速懸念拡大に加え、長期化する円高・デフレ基調、原素材商品価格の上昇や厳しい雇用・所得環境の継続等景気の先行きは不透明な状況にあります。一方、アジア経済は、中国を始めとする新興諸国において原材料や人件費の上昇を背景にしたインフレ懸念を払拭し切れていない状況にありながらも、概ね拡大基調で推移しております。

建築塗料業界におきましては、公共投資は低調に推移しており、住宅投資は震災後の建設資材の供給回復による持ち直しや新設住宅着工戸数の増加等が見られるものの依然として低水準にあり厳しい経営環境が継続しています。

このような状況下、引き続き、新築市場だけでなく膨大な住宅ストックを抱えるリニューアル市場において、差別化された超耐久・超低汚染塗料、環境問題に対応した省エネタイプの遮熱塗料等の各種機能性塗料、オリジナルの意匠性塗材や耐火被覆・断熱材等の拡販に努めてまいりました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は主力の建築仕上塗材分野が伸長し、370億39百万円（前年同四半期比12.7％増）となりました。

また、利益面におきましては、原材料費の上昇や急激な円高に伴う為替差損の発生等マイナス要因がありましたが、技術革新による高付加価値商品の販売増強や内製化効果等により、営業利益は、47億27百万円（同14.5％増）、経常利益は、41億95百万円（同8.3％増）、四半期純利益は、24億60百万円（同2.4％増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①建築仕上塗材事業

建築仕上塗材事業におきましては、主に国内リニューアル市場においてシェアが拡大したことや省エネタイプの遮熱塗料の売上が好調に推移したことにより、売上高は341億67百万円（同12.8％増）と前四半期連結累計期間に比べて38億85百万円の増収となりました。セグメント利益は54億69百万円（同12.9％増）と前四半期連結累計期間に比べて６億23百万円の増益となりました。

②耐火断熱材事業

耐火断熱材事業におきましては、公共・建築全般投資が弱含みで推移したため、売上高は16億33百万円（同3.9％増）と前四半期連結累計期間に比べて61百万円の増収に留まりました。セグメント利益は１億43百万円（同14.1％減）と前四半期連結累計期間に比べて23百万円の減益となりました。

③その他の事業

その他の事業におきましては、売上高は12億38百万円（同21.7％増）と前四半期連結累計期間に比べて２億20百万円の増収となりました。セグメント利益は55百万円（同40.0％減）と前四半期連結累計期間に比べて36百万円の減益となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第２四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ16億25百万円増加し、759億19百万円（前連結会計年度末比2.2%増）となりました。

増加した主なものは、原材料及び貯蔵品８億29百万円（同32.0%増）、商品及び製品４億81百万円（同31.5%増）及び建物及び構築物４億80百万円（同15.1%増）であります。減少した主なものは、建設仮勘定４億13百万円（同64.3%減）であります。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ63百万円増加し、183億36百万円（同0.3%増）となりました。

増加した主なものは、支払手形及び買掛金５億49百万円（同9.0%増）であります。減少した主なものは、未払法人税等５億29百万円（同25.0%減）であります。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ15億61百万円増加し、575億82百万円（同2.8%増）となりました。

増加した主なものは、四半期純利益を含む利益剰余金17億50百万円（同3.1%増）であります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

現時点におきましては計画通り推移しており、平成23年５月13日に公表しました平成24年３月期の連結業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,872	33,664
受取手形及び売掛金	19,111	19,284
商品及び製品	1,531	2,013
仕掛品	691	768
未成工事支出金	85	145
原材料及び貯蔵品	2,593	3,422
繰延税金資産	913	740
その他	276	405
貸倒引当金	△70	△68
流動資産合計	59,004	60,376
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,186	3,667
機械装置及び運搬具（純額）	540	624
土地	8,174	8,219
建設仮勘定	643	229
その他（純額）	83	111
有形固定資産合計	12,627	12,852
無形固定資産	551	573
投資その他の資産		
投資有価証券	9	9
繰延税金資産	512	504
その他	1,724	1,725
貸倒引当金	△136	△121
投資その他の資産合計	2,110	2,117
固定資産合計	15,289	15,543
資産合計	74,294	75,919

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,112	6,662
短期借入金	2,050	2,177
未払金	3,738	3,776
未払法人税等	2,115	1,586
賞与引当金	1,411	1,131
その他の引当金	253	211
その他	790	955
流動負債合計	16,472	16,501
固定負債		
役員退職慰労引当金	945	957
その他の引当金	194	163
その他	660	714
固定負債合計	1,801	1,835
負債合計	18,273	18,336
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,662	2,662
資本剰余金	3,137	3,137
利益剰余金	55,900	57,650
自己株式	△4,124	△4,358
株主資本合計	57,575	59,091
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	△1
為替換算調整勘定	△1,553	△1,507
その他の包括利益累計額合計	△1,554	△1,508
純資産合計	56,021	57,582
負債純資産合計	74,294	75,919

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	32,872	37,039
売上原価	22,501	25,739
売上総利益	10,371	11,300
販売費及び一般管理費	6,243	6,573
営業利益	4,128	4,727
営業外収益		
受取利息	28	32
受取配当金	0	0
仕入割引	41	45
雑収入	44	27
営業外収益合計	115	105
営業外費用		
支払利息	6	5
売上割引	3	4
為替差損	359	627
雑損失	1	0
営業外費用合計	370	637
経常利益	3,873	4,195
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3	－
特別損失合計	3	－
税金等調整前四半期純利益	3,869	4,195
法人税、住民税及び事業税	1,336	1,552
法人税等調整額	130	182
法人税等合計	1,466	1,735
少数株主損益調整前四半期純利益	2,402	2,460
四半期純利益	2,402	2,460

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	2,402	2,460
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	△0
為替換算調整勘定	△226	45
その他の包括利益合計	△228	45
四半期包括利益	2,174	2,505
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,174	2,505
少数株主に係る四半期包括利益	―	―

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,869	4,195
減価償却費	267	250
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△16	△17
賞与引当金の増減額（△は減少）	△205	△280
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△30	△38
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△13	△30
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	13	11
製品保証引当金の増減額（△は減少）	△1	△4
受取利息及び受取配当金	△28	△32
支払利息	6	5
為替差損益（△は益）	280	500
固定資産除売却損益（△は益）	0	0
売上債権の増減額（△は増加）	△434	△109
たな卸資産の増減額（△は増加）	△413	△1,422
仕入債務の増減額（△は減少）	179	516
その他	△181	16
小計	3,291	3,560
利息及び配当金の受取額	19	34
利息の支払額	△10	△3
法人税等の支払額	△1,801	△2,122
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,497	1,469
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△9,199	△7,170
定期預金の払戻による収入	5,997	7,296
固定資産の取得による支出	△849	△446
固定資産の売却による収入	0	5
短期貸付けによる支出	－	△25
投資その他の資産の増減額（△は増加）	△37	△31
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,089	△371
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,000	177
短期借入金の返済による支出	－	△50
自己株式の取得による支出	△3	△234
配当金の支払額	△569	△708
財務活動によるキャッシュ・フロー	426	△815
現金及び現金同等物に係る換算差額	△136	△147
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△2,301	134
現金及び現金同等物の期首残高	22,387	22,731
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,086	22,866

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
（セグメント情報）
Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自平成22年４月１日 至平成22年９月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	建築仕上塗材	耐火断熱材	計				
売上高							
外部顧客への売上高	30,281	1,572	31,854	1,018	32,872	－	32,872
セグメント間の内部売上高又は振替高	5	－	5	2	8	△8	－
計	30,287	1,572	31,860	1,020	32,880	△8	32,872
セグメント利益	4,846	167	5,013	91	5,105	△977	4,128

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種化成品、洗浄剤等の事業を含んでおります。
２．セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年９月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	建築仕上塗材	耐火断熱材	計				
売上高							
外部顧客への売上高	34,167	1,633	35,800	1,238	37,039	－	37,039
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	－	1	1	2	△2	－
計	34,168	1,633	35,802	1,240	37,042	△2	37,039
セグメント利益	5,469	143	5,613	55	5,668	△941	4,727

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種化成品、洗浄剤等の事業を含んでおります。
２．セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△941百万円、セグメント間取引消去０百万円であります。
３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。